

2010年10月4日

独立行政法人 国際協力機構  
理事 粗 信 仁 殿

環境社会配慮助言委員会  
委員長 村山 武彦

諮問（平成22年9月1日付 JICA(ER) 第9-01003号）に対する答申について

JICA環境社会配慮ガイドライン（2004年4月制定）2.4の規則及び環境社会配慮助言委員会設置要項第9項に則り、諮問「ラオス国 全国物流網計画調査」の最終報告書案における環境社会配慮について、別紙のとおり答申いたします。

コメントの種類に応じて、答申内容を協力事業に反映するよう、お取り計らい下さい。

環境社会配慮助言委員会委員長 村山 武彦  
担当ワーキンググループ主査 岡山 朋子

ラオス国 全国物流網計画調査（ビエンチャン・ロヅスティクス・パーク/S）  
（開発計画調査型技術協力）  
最終報告書案に対する答申

答申案検討の経緯

ワーキンググループ会合

- ・ 日時：2010年9月17日（金）13:30～16:15
- ・ 場所：JICA 本部（会議室：1階 112 会議室）
- ・ ワーキンググループ委員：岡山委員、石田委員、二宮委員、田中委員、早瀬委員、平山委員、松行委員、満田委員、柳委員
- ・ 議題：ラオス国 全国物流網計画調査（ビエンチャン・ロヅスティクス・パーク/S）に係る最終報告書案についての答申案作成
- ・ 配付資料：1)ラオス国 全国物流網計画調査（ビエンチャン・ロヅスティクス・パーク/S）最終報告書案  
2)補足資料（代替案/関連事業サイト位置図、代替案検討プロセス）
- ・ 適用ガイドライン：JICA 環境社会配慮ガイドライン（2004年4月）  
（助言委員会設置要項第9項に基づき、助言委員会が審査会に代わり答申を行う）

全体会合（第4回委員会）

- ・ 日時：2010年10月4日（月）14:30～17:30
- ・ 場所：JICA 本部（会議室：1階 113 会議室）

答申

## ① 現況環境状況の記述について

1. P7-56：ピエンチャン市のドンフォシー森林保護区の保護方針及び対策については、南半分は開発し、北半分に植林地区を設定し保護していく方針が打ち出されているが、当該森林保護区については今後とも慎重な保護が必要であると理解される。報告書に保護方針の策定状況を明記するとともに、事業化に際しては、現在再設定中の森林保護区のゾーニングに基づき、保護すべき区域への影響がないよう、十分な留意が必要である。

## ② 代替案、関連施設の位置について

2. 各代替案の候補地の位置及びその面積、既存鉄道及び延伸計画、既存道路及び建設中の道路網、産業パーク・空港・住宅等の他施設の建設計画位置及び面積、森林保護区内の森林状況・ゾーニングごとの用途がすべて分かる地図を、主要な地名を付記して示すべきである。

## ③ 代替案検討のプロセスについて

3. ドンフォシー保護区について、現況が荒れている、貴重種がない、二次林である、ラオス側が保護指定を解除するというのみでは、森林保護区内で開発を進めることが正当化できない。代替案 A から E の検討にあたって、最終的な総合評価の結果を導出するプロセスをさらに分かりやすく記述すべきである。具体的には、下記の点について留意が必要である。

1) 最終的に選定された施設の位置（代替案 B の候補地）の選定理由について、工事費用及び予算・SEZ 指定・物流網アクセス・他国との連携における優位性といった、選択基準ごとの重要度も含めて選定経緯を十分に記載すること。

2) 候補地の比較検討に際しては、Access Road の評価が重要な要因となっているので、Access Road に関する説明を丁寧に加えること。

3) P4-30 表 4.4.1 の代替案 A と代替案 B については、植生や生態系についての記述がなく、Fair (minor impact) と判断されており、希少種がないということのみでは説明できない。代替案 A、B は森林保護区内に位置していることから、生態系調査の結果に基づき、評価を再検討するとともに、評価の根拠を明確化すること。

4) P7-40 表 7.6.3 は、分析結果が何も示されずに、ただ「in good condition」と記されているため、「必要な分析項目が抜けていないか」、「その分析結果は何

をもって in good condition とされたのか」の根拠について報告書に記載すること。

5) P7-33 表 7.5.2 について、非自発的住民移転 30 世帯及び周辺住民が森林や事業地内で農地を利用していることを考えると、「1. Involuntary Resettlement」「2. Local Economy」「4. Social Institutions」について代替案 B が過小評価されていると考えられる。ステークホルダーから聴取した意見も踏まえ、評価の再検討を行うこと。

6) P7-33 表 7.5.2 において、代替案 A~D の各候補地のスコーピングを行って相互比較を行い、評価案をまとめているが、この代替案 C と D の評価には、物流基地事業 VLP とは独立に進められる鉄道延伸計画により発生する環境社会面の影響も含めて検討・評価が行なわれている。まず事業単体で環境社会面の影響評価を実施し、その上で鉄道延伸計画を含めて影響評価を行い、また環境保全計画を検討するという二段階の手続きを踏むこと。

7) 供用後の状況も念頭に置きながら環境影響(地球環境、公害、自然環境等への影響)に関する評価を行うこと。

#### ④ CO<sub>2</sub>削減効果について

4. P7-44 : 二酸化炭素排出の影響については、以下の想定に基づいた検討を行うこと。

1) 焼畑農業であっても、焼かれた畑以外のところで植生が繁茂しており、その面積が一定量確保されるために、ある程度の二酸化炭素吸収効果は見込める可能性がある。本文の記載では、長期的には地域の森林の二酸化炭素吸収量に対するインパクトは無視できるとあるが、その根拠について丁寧な説明を加えること。

2) 代替案の候補地で焼畑を行っているという不法行為や、今後の保護区設定解除を想定して評価するのではなく、森林保護区としての今後の森林再生保全計画を実施した場合を想定して、それによる吸収量の算定との比較検討すること。

5. 鉄道輸送との複合物流による環境負荷軽減が評価されているが、これは供用時に得られるものである。その効果については、VLP が建設されないままの状態よりもどのくらい環境負荷を減らせるのか明記すべきである。その際、今後の物流量全体の増加により、トラック輸送も大幅に増えることから、供用後の輸送量の増加に伴う環境負荷の見込み増大量も明記しておくべきである。

## ⑤ ステークホルダー協議について

6. 特に一回目の協議では、出席者の約半数が政府関係者や技術者などで、質疑応答でも地域住民の発言が少なかったため、今後、本事業の案件実現に向けてステークホルダー協議が行われる際には、双方向的なコミュニケーションを意識し、地域住民が自由に発言できる配慮が必要である。また、質疑応答の際、得られた回答に対し質問者がどれだけ納得したり、当初の疑問が解消されたりしているかについて、報告書において十分に記載することが望ましい。

## ⑥ パブリックオピニオン意識調査について

7. パブリックオピニオン調査の結果によれば、住民は同区内で複数の開発プロジェクトが進行していることに戸惑いを覚え、以前に比べて環境が劣化していると感じている。また、事業実施を望む人は 8 割近かったが、一方で環境面の評価は半々に割れている。事業化にあたっては、ステークホルダーに対し、環境面の説明を十分に行い、不安を解消する努力が求められる。

8. パブリックオピニオン調査の結果について、調査票への回答結果だけでなく、「なぜそう思うか」という情報や、インタビューによって明らかになった定性的データについても報告書に追記すること。

## ⑦ 用地確保・住民移転について

9. P7-56：アグロフォレストリー導入が非自発的移転対象者への緩和策であるのであれば、その関連性が判るよう報告書に記述を行うこと。また、アグロフォレストリーの導入にあたっては、以下の点に留意し、移転予定住民との関連性がより強く理解できる提案とすること。

- 1) 過去または類似の事例からアグロフォレストリー導入及びその成功に必要なかつ十分な条件を示す。
- 2) 新居住地とアグロフォレストリー予定地の近接を図る。
- 3) 計画段階から住民との十分な協議を行い、住民によるアグロフォレストリー経営の自立発展性に留意する。

10. 代替案 B の非自発的移転対象（30 世帯）に非正規居住者が含まれるのであれば、そのことを明記すること。また、本事業の候補地検討の重要な要素は住民移転であるため、代替案 B 以外においてもおおよその影響世帯数を明記した上で、評価を行うこと。

## **⑧ 環境管理計画（EMP）について**

11. 環境管理計画には、事業の工事段階とともに、施設供用・実施段階の環境管理内容、貧困層への補償等の社会配慮事項及びそのモニタリング計画や維持管理計画を明記し、具体的な環境影響防止の方策が実施されるよう、フォローアップに配慮することが重要である。

## **⑨ その他**

12. 供用時には、VLPにアクセスする道路沿線ではトラック輸送者を対象としたロードサイドビジネスが起こるものと予想される。これは供用時の経済効果に含めて考えるべきである。

以上